

## ⑥ ごみ減量化の推進について

### I 平成 23 年度一般廃棄物（ごみ及びし尿）の処理の現状

収集区分	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	合計
搬入量	22,812t	910t	1,066t	1,679t	26,467t

- ごみ総排出量 26,467t（前年度 25,967t **1.9%増**）
- **家庭ごみ 19,797t（74.8%） 事業系ごみ 6,670t（25.2%）**
- 1人1日あたりのごみ排出量（ごみ排出量/総人口・365日）  
**1,022g/人日 県内多い順に 4番目/42自治体（県平均 960g/人日）**  
・・・差の 62g は A4 紙 15 枚分に相当
- リサイクル率 [(資源化量+集団回収量) / (ごみ処理量+集団回収量)]  
**22.2% 県内多い順に 25番目/42自治体（県平均 22.4%）**
- 最終処分場残余年数  
**約 40 年**
- 一人あたりのごみ処理費[総額/総人口]  
**19,920 円（前年度 1,334 円増）**

### II 平成 25 年度の取組み

- **ごみ処理の現状をわかりやすく市民にお知らせします。**
  - ・「広報なかつがわ」での特集、連載
  - ・「住みよい環境づくり推進員」会議での意見交換と周知
  - ・事業者に向けた取組み強化の依頼
- **資源化（リサイクル）運動を推進します。**
  - ・お近くのリサイクルボックスに関するお知らせと活用 PR
  - ・集団資源回収の促進と奨励金制度の周知
  - ・エコキャップ運動の推奨
- **イベントや環境学習を通じた啓発活動を実施します。**
  - ・小学校等でのごみ減量をテーマにした環境学習の支援
  - ・「環境フェスタ中津川」でパネルやチラシを活用した啓発
  - ・「ダンボールコンポスト」の普及推進
- **ごみ減量につながる取組みを検討し実践します。**
  - ・市民会議の設置とごみ減量化につながる方法の検討（先進事例の研究）
  - ・リサイクルセンター建設に向けた取扱い品目や設備の検討
- **市役所は率先して取組みます。**
  - ・印刷紙の資源化の徹底
  - ・ごみ処理費用の縮減 など